シリーズ バードアイ

未来への鳥瞰図

広域合併

21世紀へのパスワード

行政枠を越えた

地方分権時代

日本再編絵巻

生活圏の広域化

モータリゼーション

地方行政の効率化

地方分権の受け皿づくり

スケール

メリット

埼玉県の浦和、大宮、与野の３市の合併への動きが話題になり、また広島県に於いても福山市とその周辺町との合併案が浮上しています。現在、全国では100件以上の合併構想があると言われています。それでは“ なぜ ”合併なのでしょうか。すぐに“ こうだから ”と答えられる人は決して多くないと思います。今月のシリーズ・バードアイは、広域合併を通じて21世紀の日本再編を鳥瞰してまいります。

WHY? 合併

「昭和の大合併」

そもそも我が国で市町村という呼び名が始まったのは1889年の市町村制の施行からで、当時は約15,000の市町村が存在しました。その後市や町が増え、村が減少し、1947年には約10,000となりました。そして1953年に「昭和の大合併」が始まり、自治体の行政能力の向上を目指し、小さな村が人口8,000人を目安に再編され、僅か３年後には3,400余りに減少、現在までに3,232となりました。この「昭和の大合併」は、国が方針と基準を決め、強制的に合併を推進するという手法だったため、「地方自治」を侵害しているとして、自治体の当事者達には評判が悪かったのです。国はその事を受け、その後「自主的合併」を原則にし、積極的には合併を進めようとはしませんでした。

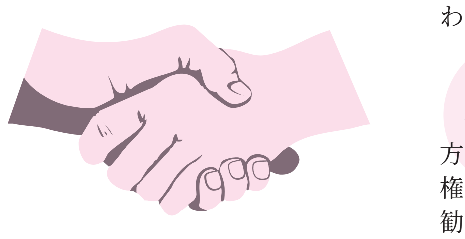
「生活圏の広域化」

1960年代以降、画期的なモータリゼーションが進み、人々は自動車で当り前のように行動するようになり、通勤、通学、買物等の行動エリアを広げてきました。その結果「住民の生活圏」は広がったが、「自治体の単位」は変わらないまま30年余りが過ぎました。

「地方分権」と「財政危機」

今や地方分権が騒がれている中、地方分権推進委員会が数回にわたり国の権限や財源を地方に移譲する具体案を勧告として打ち出しています。一方、中央官庁は分権に対し必ずしも前向きではないと伝えられていますが、その根拠として「受け皿」という言葉があります。権限や財源を移譲しても、市町村側にそれらを処理する能力がないというわけです。市町村の規模と行政の能力が必ずしも比例するとはいえませんが、一般的に規模が大きい方が、より多くの専門的な職員を擁することができるのは事実です。又、国家財政が巨額（500兆円）の赤字を抱え危機的な状況である今、地方、各市町村もパンク寸前であることは言うまでもありません。この待ったなしの状況の中、抜本的な策として市町村を大胆に再編する事が行政効率の点から大きな効果が生まれるのです。

今日、全国で合併構想が相次いでいるのは、30年来の課題であった「生活圏の広域化への対応」に加え、「地方分権への受け皿づくり」そして「地方行政の効率化」という新たな大きな問題が後押ししたためだと考えられます。

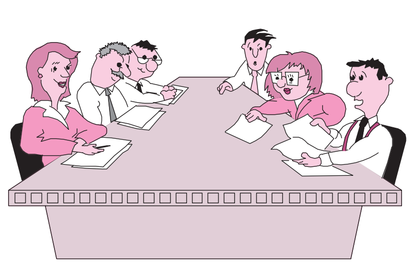


広域合併は21世紀へのパスワード!?

PASSWORD

紙上ディベート DEBATE! ザ・合併

広域合併について、様々な議論が行われています。合併推進論、合併反対論両方の観点から見てみたいと思います。



合併、ワシャ大賛成ジャ

「広域合併はどうしても必要です。その理由として５点挙げられます。

まず**第１**に、過疎や中山間の小規模町村は、21世紀には**生きてゆけない**からです。後10年か15年もすると、過疎や中山間部では、人口年齢構成は完全に逆ピラミッド型となってしまいます。このことは地域（産業）を支える若年層、高齢者を支える若年層、そして2000年にスタートする公的介護保険を支える若年層がいなくなることを意味します。どうしてもより広域な地域で支え合う体制（合併）を整えてゆかなければ、このような地域では次第に生きてゆかなくなるのです。

第２に、小さな行政枠の中で、こじんまりと閉じ込められていたのが、合併によりその壁がなくなれば、全体の大きな枠の中で各々の地域が役割分担を持ち、相補いながら**相乗効果**を発揮し、大きく伸びることが出来るからです。すなわち重点的、集中的に投資や施策が展開でき、夢のあるダイナミックな大型プロジェクトを進めることも可能になってきます。

第３の理由として、小さな市町村のままでは、文化、スポーツ施設を造ろうとしても、どうしても規模の小さいもの、ありふれたハコモノの乱立になってしまい、たとえ無理して造ったとしても赤字の負担に悩まされてしまうのが現状です。合併をしてはじめて**規模の大きく高度な**施設の建設が可能なのです。

第４として、地方分権時代に於けるまちづくりは、優れた発想とともにそれを具体化する専門的知識、高度な技術が求められます。ところが小規模市町村のままでは、このような専門家を育て、あるいは専門スタッフを置く余裕などありません。合併によるスケールメリットが出て来ることで、人員に余裕が生まれ、**専門スタッフ**を配置することも可能になって来るのです。

そして**第５**として、合併がなされると、それまで各市町村ごと別々に行われてきた事務が一か所にまとめて行われるようになるため、大幅な組織の簡素化と職員の減員をすることが出来るのです。特に補助金の申請事務は金額の大小に関わらず膨大な手間ひまを要するので、一本化の効果は**極めて大きい**ものと言えるでしょう。

以上の理由から広域合併を積極的に進めるべきと考えます。」

広域合併 ゼッタイ反対

「広域合併を安易にすることは、極めて危険であると考えます。なぜなら、合併すると中心部だけ栄え、後は過疎化しさんたんたるものになってしまうと言う心配があるからです。現に過去に市町村合併したところは、どこもうまくいっていないでしょう。確かに合併すれば人口規模は大きくなるが、中心部ばかり人が集まり、周辺は荒廃してきていると言う**過去の合併の現実**を忘れてはならないと思います。

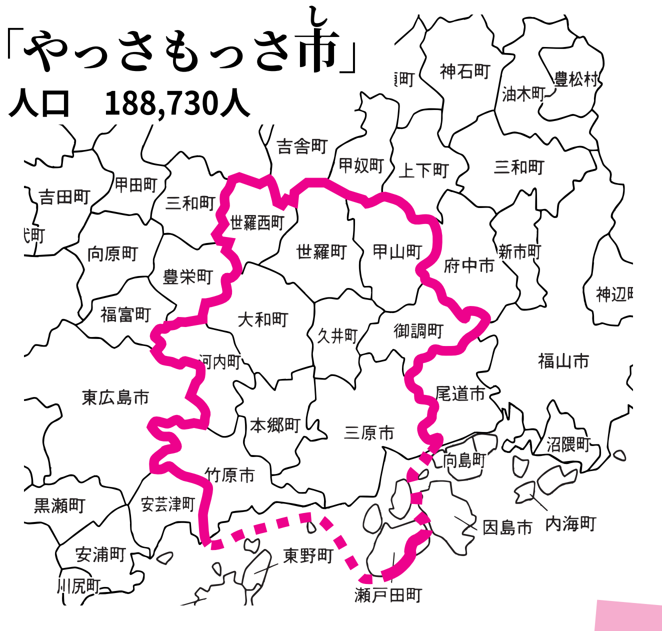
また大きければ何でも良いというのは、余りに偏向的すぎるのではないでしょうか。例えば子どもの非行は大規模校に多く、小規模校には出ていない。地方選挙でも、大きくない地方団体の方が住民の政治への関心が高いと言った**小さい方が良い**場合もあるのです。

確かに合併が必要な地域もあるでしょうが、どんなことがあっても合併できないところも存在すると言うことを認識してもらわないと困ります。無理に合併をすれば、**問題がかえって広い範囲に出て来るだけです**。

町村の地域の特殊性によって事情は異なるのだから、一方的な合併論の押売は迷惑以外何物でもありません。どう選択するかは、そこに住む住民が決めることです。十分な議論しないまま一時的な機運で合併を先走ることにはゼッタイ反対です。」

「やっさもっさ市」

人口　188,730人



提案！ ■18万都市■“ やっさもっさ市 ”

いかがでしたか？　合併推進論、反対論、いずれにせよ広域合併をどう選択するかが、21世紀と言う次のステージへのパスワードであることは紛れもない事実であるようです。正しいパスワードを入力しない限り未来への道は開かれません。そのためには、私達の住むまちは、私達で考え、私達で創ってゆく、地域主権型社会を目指してゆくことが必要です。

1997年（社）日本青年会議所は、地域主権推進連絡会議より、日本再編絵巻ＪＣ流を発表しました。その中で、現在の3,200余りの市町村を339市に再編することを提案しました。今回それをベースに“ やっさもっさ市 ”と言う新たな行政枠を考えてみました。決してこれが正解のパスワードと言うわけではありませんが、選択肢の一つとして読者の皆さんと共に検証してゆきたい思います。ご意見ご感想をお待しております。

8月例会 これからどうする！サン・シープラザ

～超高齢社会を支えてゆくために～

去る８月19日（社）三原青年会議所では、ひとに優しいまちづくり委員会（田尾敏範委員長）の担当により、「これからどうする！サン・シープラザ～超高齢社会を支えてゆくために～」と題して、８月例会を行いました。

今年度ひとに優しいまちづくり委員会では、市民すべてがいきいきと輝き、健康で生きがいをもって豊かに暮らせるまちを考える一環として、高齢者福祉に焦点をあて、今後のみはらの福祉のあり方について考えております。

本例会におきましては、今後の高齢者福祉、サン・シープラザのあり方について下記のような提案がなされました。

1. サン・シープラザに保健・医療・福祉が一体となって市民にサービスを提供できる体制を整えること。そのためには総合的な窓口の設置、行政内部の連携強化が必要である。
2. 今後のサン・シープラザの運営企画を含む高齢社会対策の方向性について計画することの出来る組織を行政が持つこと。
3. 保健福祉関係者が情報を共有し、問題解決を考える会議体をつくること。（市民・行政・各種団体が参加可能なこと）
4. ボランティアコーディネーターをはじめとする、人材育成を行うこと。（全国的なネットワークを持ち、情報収集に長け、コーディネートの出来る人材）
5. ボランティアの力をうまく活用してゆけるよう、コーディネーターを設置し、行政との連携、役割分担が行えるような組織づくりを行うこと。

予告 「'98ひろしまフォーラム in 三原」

メインテーマ　福祉とまちづくり

開催日…**10月25日（日）**

詳細は「やっさもっさ」10月号にてお知らせします。

(有)土居写場
(有)童夢
(有)徳永興行
ドコモショップ三原駅前店 パーソナルショップ三原店
(有)豊建
(有)中川書店
(株)中野モータース
中村電工(株)
ナンバ洋服店
ぎゃらりい はぎ
ホビーショップ ハタイ
(株)原アルミ建材
半さん
平木鶏卵
(有)お茶の平野園
広島県東部鮮魚冷凍魚事業(協)
(有)カメラのファースト
(株)富久屋
(有)藤井鋼産
富士金属工業(株)
フラワーショップ ふじもと
スナック ベティ
(有)本田石材工業
マイエッグ・ヤマナ
益谷建設(株)
松尾社会保険労務士事務所
ビジネス旅館 松野
ジュエリーサロン まつば
(株)マネジメント・ブレインズ
浜田市(有)まるさ運送
おしゃれサロン マルゼン
(株)ミッキー堂
ミナミゴルフ(有)
(株)三原給食センター
三原金融協会
(株)三原国際ホテル
三原重量(有)
(株)ミハラスーパー
(有)三原ターミナルホテル
三原塗装(株)
三原本町霊園
(有)三宅塗装工業
宗廣歯科クリニック
盛影塗装(株)
ヤスミチ美容室
三原の味です名物です 献上銘菓 ヤッサ饅頭 ヤッサ饅頭本舗
吉井ビジュアート(有)
寝・生活館 よしなが
夜船司法書士事務所
読売新聞三原東I・C
ラウンジ OB
理研設計(株)
ローソン三原臥竜橋店
買・売・質 わたべ
(有)東亜不動産
(有)ときわ薬局
富野機工(株)三原営業所
とりごえ食品(株)
鳥徳
中川広告(中川の義さん)
ジェントリーハウス 中原洋服店
中間醸造(株)
難波産婦人科
皆実町(有)灰谷鉄工所
(株)博善社
(有)花岡商会
(有)ハリカ三原店
桧山幸三税理士事務所
スタンド ひらた
広川産業(株)
広島電気工事(株)
ファミリー歯科診療所
藤井建設(株)
フジ・エンタープライズ(有)
(株)富士鉄工所
ベスト電器三原店FC白須電機(株)
本郷建材工業(株)
ホンダプリモ三原皆実
(株)まじま製麺
松浦生花店
(株)松田鐵店
(有)松野商店
宝石・時計 マツヤ
スナック マリア
丸仁建設(株)
丸和石油(株)三原営業所
(有)みどり書店
三原カンツリークラブ(株)
三原共同生コン
三原グランドパレス
(株)三原シティホテル
食協チェーン三原食糧企業組合
(有)三原スバル販売
エム・キャット三原テレビ
(株)三原美装社
三宅石材店
三好印刷(株)
明治生命保険(相)
保道建設(株)
(株)やっさ石油
ヤマサ建設(株)
(医)明清会 山田脳神経外科
山本衣料(株)
(有)山本住設
(株)よしいけ
(有)吉岡建具製作所
由水酒販(株)
よいえびす
(株)読宣備後三原営業所
ブライダルサロン(株)ラ・ベルフィーユ
下町の居酒屋 六文銭
渡辺土地建物(有)
(有)渡辺商会 写真のエル

本誌〝やっさもっさ〟は、㈳三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

i・S グループ
Ⓐ赤谷木材(株)
うまい酒 旭菊水
スナック 石垣
糸崎木材(株)
お好み焼 いろは
(有)上田製版印刷所
(株)上野建材センター
宇野税理士事務所
(株)エヌワイティグループ
桜南食品(株)
大東印刷(株)
大成土地家屋調査士事務所
(株)オギロパン
医療法人社団 越智眼科
尾道三菱自動車販売(株)
親切ギフト かつはら
(株)勝村商店
レストラン かねしょう
金永保険事務所
かもめしんきん
関西薬品(株)
スナック ギフト
共栄商事(有)
京覧カントリークラブ
共和設計事務所
グラフィック機材(株)
芸備燃料 市内4S・S
(医)仁康会 小泉病院
河城石材店
(株)コグマヤ
(株)コニシ福山営業所
(株)コパックス
スタンドクラブ コント・パートII
崎本建設(株)
(有)さこだモータース
(株)サッキ工業
三基工業(株)
山陽建設(株)
山陽製粉(株)
(株)シゲモリ本店
(有)シーズ
柴原電機(株)
(株)住創
順勝寺
私立幼稚園 昭和園
(株)鈴木
瀬戸内不動産(有)
ソナリア&ベッド館
第一生命保険(相)
(有)大日ヘルスショップ
ダイヤ石油(株)
@タコインターネット
(有)多田電気工事
(株)田中組三原支店
(株)タニグチ
(有)中央地所
中国建機(株)本郷営業所
つぼみ
くし焼き 狄
(株)赤石硝子建材
浅田公認会計士事務所
居酒屋 あやか
井藤カヤク(株)
服地の今井
(有)インテリア・サカイ
上田鉄工(株)
(株)ウツミ
NRK保険事務所(有)
(有)エルサ
大下建設(株)
やき肉 鳳
岡本電機(株)三原営業所
奥延食品(株)
小野税理士事務所
(有)笠下工務店
勝原不動産
勝村木材(株)
(有)カネダ薬品
亀井鉄工(株)
関西通商(株)
完山商店
キヤメル
(株)キヨーデン
共立電機産業(株)
熊田ガラス(株)
グランカフェ
藝陽日日新聞社
広愛産業(株)
(医)里仁会 興生総合病院
小島洋紙(株)
(有)小西豆腐店
(合)小松家具店
(株)サービスセンター
作田洋紙(株)
佐竹工業(株)
(株)澤井製作所
中国新聞広告代理店 三洋企画
山陽コカコーラボトリング(株)
三和(株)
(株)システムイン国際
柴田産婦人科
ジャスコ三原 ショッピングセンター
(株)正田文華堂
新宅建設(株)
砂田歯科医院
(株)セイム
第一歯科医院
(株)大建組
ダイフク興産(株)
(有)高山ペットショップ
ダスキンレントオール尾道S・S
田中運輸(株)
田辺製麸工場
千晃(株)
(株)中国新聞サービスセンター
リカーランド つきやま
(有)鶴田電設コンサルタント
(株)天満屋三原店